

<基礎教育学会(仮称)設立準備会 事務局>

〒195-8585 町田市金井町 2160 和光大学社会教育学(岩本)研究室内

お問い合わせ: iwamoto@wako.ac.jp

CONTENTS

- 1 発刊の辞
- 2 これまでの経緯について
- 3 第一回設立準備会報告
- 4 世話人一覧
- 5 第二回設立準備会報告
- 6 今後の日程

1 発刊の辞

ニューズレター第一号をお届けします。

これまで日本の基礎教育は、研究に先立ち、実践が先行するかたちで発展してきました。私たちは、昨今の夜間中学拡充運動や生活困窮者自立支援における基礎教育支援への関心の高まりに刺激を受けつつ、2016年8月をめどに、基礎教育学会(仮称)の設立に向けて活動しています。私たちは、生活者の視点から基礎教育に関わる教授・学習の場を主たる研究対象とする、実践的な新しい「学」の確立を目指しています。研究者はもちろん、実践者、行政官、当事者、市民ボランティアなど、関心ある方々の積極的な参加をお待ちしています。

本号では、2015年2月と5月に開催した学会設立準備会の概要を中心に、これまでの経過をお伝えします。

2 これまでの経緯

2014年より、基礎教育学会(仮称)構想・懇話会の名称で、議論を重ねてきました(2014年6月7日@横浜、9月21日@東京、11月9日@東京)。4回目となった2015年2月の会議から名称を「基礎教育学会(仮称)設立準備会」と改め、今に至っています。(日本基礎教育学会:<http://www.tek.co.jp/jafe/>とは異なります。)

私たちは、学びから排除された人々、読み書きの学習を求める人々の支援とその制度的保障について、また、その実践や運動について専門的に議論し、語り合う「場」の創設を求めています。学術性を保ちつつも、実践者、研究者、行政関係者、市民、そして、当事者による共同探究ネットワークとしての新しい形の「学会」を目指しています。

対象としては、夜間中学、識字運動、地域日本語教室、生活困窮者の自立支援、外国にルーツをもつ人たちの学習支援、障がいをもつひとの継続教育など、教育を軸としながらも福祉や労働にまたがる横断的な領域を想定しております。

共同探究ネットワーク
としての
新しい形の「学会」を
目指しています。

3 第一回基礎教育学会（仮称）設立準備会の報告

日時：2015年2月8日（日）14:00～17:00

会場：東京・新宿区 大久保地域センター 3階・会議室 A

参加者：森実（大阪教育大学）、長岡智寿子（国立教育政策研究所）、見城慶和（えんぴつの会）、中澤八榮*（仙台に夜間中学を作る会）、湯澤直美（立教大学）、江口怜（東京大学大学院）、近藤雄介（筑波大学学生）、南角建人（筑波大学学生）、新矢麻紀子（大阪産業大学）、藤田美佳（奈良教育大学）、野山広（国立国語研究所）、関本保孝（夜間中学元教諭）、添田祥史（福岡大学）、岩本陽児（和光大学）（敬称略、下線は世話人、*は初参加）

配布資料 議事次第、第三回構想・懇話会（11月9日）議事録（案）、呼びかけ人名簿（案）

議題 1、経過報告と、前回議事録の確認

議題 2、準備会の設立について

今回会議から名称を変更し、基礎教育学会（仮称）設立準備会とすることが承認されました。

議題 3、学会設立趣意書について

継続審議となりました。起草委員会に2名が加わり、6名体制となりました。

議題 4、今後のスケジュール

2016年8月21日の設立総会まで、奇数月の第二日曜に会議を持つことにしました。具体的には、5月10日、7月12日、9月13日、11月8日、2016年2月14日、5月8日、7月10日が候補日となりました。

議題 5、呼びかけ人名簿

世話人から、新たに7名の方に打診することを決めました。

議題 6、学会名称

すでに「日本基礎教育学会」が別にあるため、工夫が必要なところで、年内には学会名称を決めることとし、意見交換を行いました。

関連して、今後は準備会の冒頭に研究報告を入れることで合意され、

5月10日は基礎教育概念について（成人基礎教育に関する江口報告）、

7月12日は大阪で識字教育概念・ニューリテラシーズも含みテラシーの勉強会（京都女子大、岩槻知也氏 報告）を予定しました。

議題 7、今後の体制

学会創立当初の担当理事となることを展望しつつ、運営に必要な7領域＜1 会計、2 広報①HP、3 広報②会報、4 記録+ML、5 起草委員会担当、6 組織①名簿管理と②リクルート）と7情報収集・設立大会担当＞を担当する、8人の新世話人体制が承認されました。その他、準備会の会費を3000円とすることについて、承認されました。

4 世話人一覧

（あいうえお順）

岩本 陽児（和光大学）
 新矢 麻紀子（大阪産業大学）
 関本 孝和（夜間中学元教諭）
 添田 祥史（福岡大学）
 長岡 智寿子（国立教育政策研究所）
 野山 広（国立国語研究所）
 藤田 美佳（奈良教育大学）
 森 実（大阪教育大学）

<お知らせ①>

『夜間中学校の青春』、文：見城慶和、
 写真：小林チヒロ、遊人工房刊が、（公益
 社団法人）日本図書館協会推薦図書に選ば
 れました。図書館への購入希望（ブックリ
 クエスト）をよろしくお願いたします。
 価格：2300円、ISBN：978-4-903434-74-2
 発行日：2015年2月10日



5 第二回基礎教育学会（仮称）設立準備会報告

日時：2015年5月10日 午後2時～5時15分

会場：筑波大学 東京キャンパス文京校舎（茗荷谷） 118 講義室

参加者：添田祥史（福岡大学）、関本保孝（元夜間中学教諭）、見城慶和（えんぴつ
 の会）、棚田洋平（一般社団法人 部落解放・人権研究所）、新矢麻紀子（大阪産業大
 学）、森実（大阪教育大学）、上田孝典（筑波大学）、草京子（夜間中学史料収集・
 保存ワーキンググループ）、野山広（国立国語研究所）、江口怜（東京大学大学
 院）、湯澤直美（立教大学）、山田泉*（法政大学）、庄司匠、
長岡智寿子（国立教育政策研究所）、イ・ジョンヨン（東京大学）、岩本陽児（和光
 大学）（敬称略、下線は世話人、*は初参加）

配布資料

議事次第、前回議事録（案）、江口報告レジュメ、呼びかけ人名簿（案）

<お知らせ②>

来る7月25日土曜日午後に、松竹「東劇」（東京中央区築地4-1-1）にて、
 夜間中学映画祭第二弾が開催されます。2月映画祭@東中野の盛況にありがとうの
 感謝をこめて、「学校」、「こんばんは」をバリアフリー版で上映します。

下記のブログでご確認のうえ、お申し込みください。（事前申込制）

<http://ameblo.jp/yakaneiga/>

報告と質疑

江口怜（東京大学大学院）報告 「『基礎教育』の概念について」

レジュメに沿って、下記のような興味深い報告が行われました。

報告内容)

「基礎教育」は、専門教育に対する基礎的な教育や、乳幼児・子どもを対象とする教育など様々な意味で用いられていますが、本学会で注目する基礎教育の概念が大きな役割を果たしたのは、第二次大戦後のユネスコによる「基礎教育(Fundamental Education)」の運動や、1960年代以降のアメリカにおける「成人基礎教育(Adult Basic Education)」の運動でした。この基礎教育の概念は、1990年にタイで開催された「万人のための教育(Education for All)」世界会議を機に、識字、初等教育の完全普及、生涯学習の三つの主要概念を軸に国際的に展開してきました。以降、「基礎教育」は **Basic Education** として、公的な学校教育を基本としつつも、幅広い領域の教育を年齢、人種、性別、階層等による差別なく提供することを意味します。基礎教育の機会を得られない人々が多数、存在することについて、未だ外国の問題として考えられていることが多いですが、日本社会の問題としても捉えていくために、活発な議論が必要であると感じました。（江口怜 / 東京大学大学院教育学研究科博士課程）

質疑・意見交換)

大略、次のような意見が出されました。：
ファンダメンタル教育からベイシック教育へとシフトがあるのかどうか、成人基礎教育、ノンフォーマル教育(NFE)との関連、85年のユネスコ学習権宣言の影響、日本国憲法26条の普通教育は基礎教育との指摘、今後の学会活動の中で数字的根拠を示していく必要性等々。

報告事項

- ・ 科研挑戦的萌芽研究「格差貧困に抗する成人基礎教育学にむけて—領域横断的な共同探求ネットワークの構築」が採択されました。
- ・ 日本基礎教育学会
学会会長の見解が紹介され、恵贈された日本基礎教育学会の学会誌2冊を回覧しました。
- ・ 呼びかけ人名簿について
進捗状況が報告されました。

審議事項

- ・ 前回議事録の確認
- ・ 学会名称について
意見交換ののち、継続審議とすることになりました。福祉との接点を意識すべきこと、「識字」という言葉について慎重であるべきこと、新しい言葉を作っていくことも重要であり、例えば、ヘレンケラーの「アン・ラーン(unlearn)」のように、義務教育をやっていないのは社会が恥じるべきだとし、補償教育の名称、**Education for All** 学会などの意見が出されました。
- ・ 呼びかけ文案の検討
次回大阪で引き続き検討することを確認しました。今回の検討では、日本の社会を一層豊かなものに……。貧困家庭の学習支援も。学習権宣言の「万人のための教育」をにおわせる表現を、等の意見が出されました。
- ・ 準備会ニューズレター 前回までの議論にもとづき、一か月以内に形にすることで了承されました。
- ・ 今後の役割分担について
世話人のあいだで相談することが了承されました。

6、次回日程について

日時：2015年7月12日（日）

14時半～17時半（予定）

会場：大阪産業大学の梅田サテライト
キャンパス

（科研ミーティングを12時から行います。）